

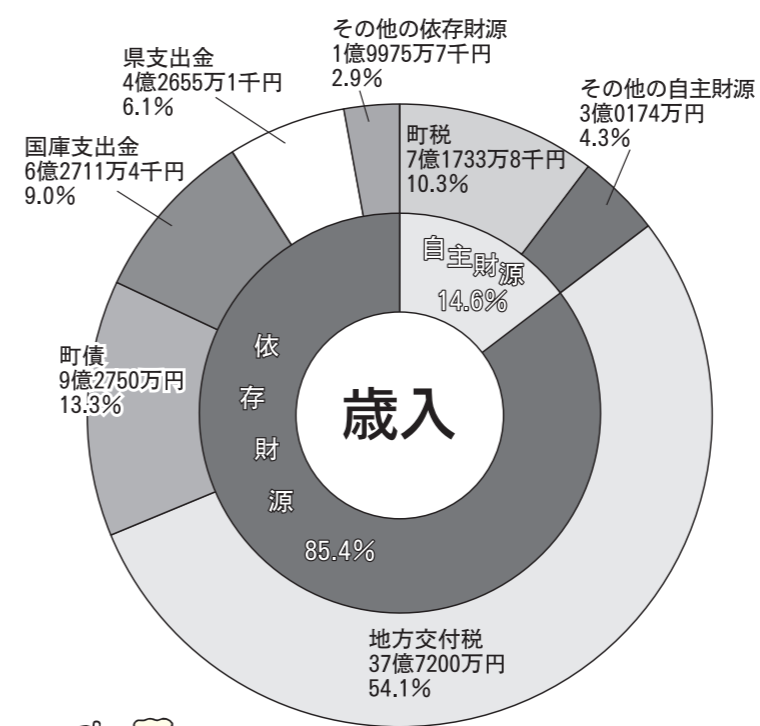
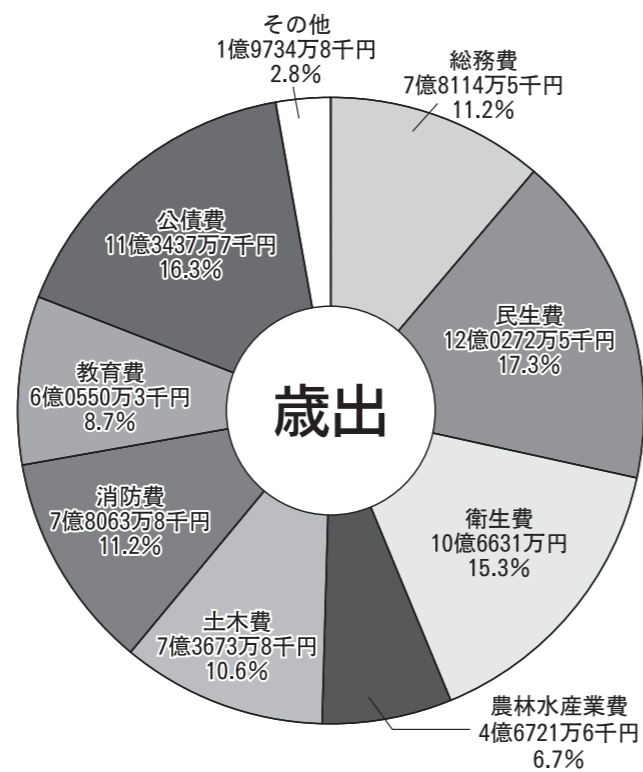
一般会計予算額 69億7200万円

町がさまざまなサービスを行うために、お金を出す根拠となるものは「予算」と呼ばれます。予算には、さまざまな分野で使われる「一般会計」と、特定の目的のみに使われる「特別会計」があります。今年度のサービス・まちづくりがどのように行われるのか。そのあらましをご紹介します。

歳 出 歳 入

〈用語の説明〉

- 総務費……選挙や戸籍、徴税、町の庁舎管理などの経費
- 民生費……高齢者や障害者、児童などの福祉に関する経費
- 衛生費……各種検診や予防接種、ごみ処理などの経費
- 農林水産業費……農林水産業の振興、農業用道路や水路の整備、農村環境整備などの経費
- 土木費……道路整備、除排雪、町営住宅整備などの経費
- 消防費……五所川原地区消防事務組合の負担金や消防団員の報酬、消防機器の管理などの経費
- 教育費……小中学校の管理、社会教育、生涯学習・体育の振興、文化財保護などの経費
- 公債費……町の借金である町債の返済などの経費



〈用語の説明〉

- 自主財源……町が自主的に得る収入
- 依存財源……国、県から定められた額を交付されたり割り当てられたりする収入
- 町税……町民の皆さまに納めていただく町民税や固定資産税などの税金
- 地方交付税……国から町に交付されるお金。国税である所得税、法人税、酒税、消費税、たばこ税の一定割合を町の財政力に応じて交付されます
- 国庫支出金……特定の目的の事業のために国が補助するお金
- 県支出金……特定の目的の事業のために県が補助するお金
- 繰入金……積立金の取り崩しなどのお金
- 繰越金……前の会計年度から次の会計年度へ持ち越したお金
- 町債……事業を行うために町が計画的に借りるお金



平成26年度はこんな事業を行います

臨時福祉給付金支給事業 (39,843千円)、子育て世帯臨時特例給付金支給事業 (9,801千円)

消費税の引き上げに伴い、国の補助事業を活用し、対象者に臨時給付金支給事業を行います。

北海道新幹線開通対策関係事業 (12,359千円)

北海道新幹線開通に向けて津軽半島・津軽海峡連携事業や町の魅力PR事業として、町イメージキャラクターいわゆる「ゆるきゃら」の製作や駅ナカイベント、下前徐福イベントを行います。また、今別町や五所川原市と連携して町PR活動を行います。

新町庁舎整備事業 (69,066千円)

現庁舎の老朽化により耐震機能が低いことや防災機能が確保できないことから、住民が利用しやすい、防災機能を備えた、町民のまちづくりの拠点となる新庁舎を整備するための基本・実施設計を行います。

公営住宅建設事業 (273,362千円)

若者定住に向けて、パルナス南側に予定している「新中里団地」の建設。今年度は、6棟12戸の住宅を整備する予定です。

デジタル移動系防災行政無線整備事業 (185,041千円)

統制局や基地局の整備、デジタル化されることにより災害時に無線が届かない不感地帯の解消と情報収集機能を強化します。

経営体育成支援事業 (45,000千円)

農業経営者に対する支援策として農業用機器購入費などの助成を行います。

海岸漂着物回収処理業務 (27,300千円)

小泊地域おける海岸に漂着する漂着物の回収・処理を行うことで、環境美化と安全な漁業の操業ができるように環境を整備していきます。



特別会計の予算額

(単位：千円)		(単位：千円)		
国民健康保険(事業勘定)	2,218,943	特別養護老人ホーム静和園事業	318,678	
国民健康保険(診療施設勘定)	243,636	後期高齢者医療	271,570	
介護保険事業	1,485,743	水道事業	収益的収入	383,959
農業集落排水事業	40,149		収益的支出	332,997
漁業集落排水事業	20,200		資本的支出	190,672

医療保険や上・下水道など特定の目的のみに使われる特別会計は、7つあります。特に国民健康保険や介護保険、後期高齢者医療保険、水道事業など、町民の皆さまに身近なものが、特別会計で処理されています。